

平成25年度第2回青森県立郷土館協議会について（会議概要）

今年度第2回目、第21期最初の青森県立郷土館協議会の内容をお知らせします。

1 日時 平成25年12月6日（金）午後1時30分～午後3時30分

2 場所 青森県立郷土館 小ホール

3 内容

- (1) 議長及び副議長の選任
- (2) 平成25年度事業実施状況及び利用状況について
- (3) 平成26年度事業計画（案）について
- (4) 青森県立郷土館の博物館評価実施について

4 協議会での質疑・回答事項

- (1) 来館者アンケートにある「来館は何回目ですか」という項目で、初来館者が回答数の半分程の率であったが、他の施設でも初来館者の率は半分程なのだろうか。リピーターを多くするというのが一番良いと思うし、他の施設の状況を提供してもらえば、参考になると思うので、そういうデータがあったら知りたい。

→ 類似施設や青森県の博物館等協議会の加盟館にアンケート実施について照会・調査し、後日お知らせする。

- (2) 同じ県立施設で、美術館があるが、郷土館と美術館との住み分け、役目についての考えを教えてください。

→ 郷土館は、郷土館エントランスの竹内俊吉氏の碑文「ふるさとの過去を語り、現在を考え、未来を展望する」総合博物館として設置された。郷土館では、美術品を扱うにしても県内作家の作品の収集を図っているということが大きな違いである。

- (3) わくわく体験ルームをもっと宣伝して、子供連れでも大丈夫な施設であるということをアピールすれば、もう少し気軽に来れるのではないか。

→ 施設については、各地区に広報しているが、わくわく体験ルームの存在は広報が足りないかもしれないので、今後の広報について考えたい。
来館した保護者の方は、様々な体験ができるので利用して喜んでいる。

- (4) 学校で行う出前授業に関して、むつ・下北での利用が増加していることだが、有料だと思っていたとか、ますます忙しくなると思っていた等、以外と知らない学校や職員が多い。

実際に出前授業を実施した学校の職員の話を聞くと、本当に子ども達が喜んで、是非またやりたいという話を聞くので、マスコミ等にPRし実施状況を紹介してもらえば、もっと周知が図られるのではないかと感じる。

- 出前授業は、担当した職員が転勤して、転勤先でも実施するというケースが多く、まだ知られていない状況であるので是非考えていきたい。

5 協議内容に対する意見

- (1) アンケートについてだが、回答数が入館者の約1%であるので、その意見を全体に反映させ、把握するというのは無理があると思うので、期間を区切って聞き取りをすとか、率を上げる工夫をしていただくと非常に有効なアンケートになると思う。
- (2) アンケートの来館者からの意見のなかで、クーポン券やポイントカードの話があったが、主婦の目線・立場からすると、スーパー等でポイントがつく日というのは、客数が多いと感じるので、クーポン券やポイントカード等は、細かいやり方かもしれないが、主婦層に対しては効果があるのではないかと思う。
- (3) 郷土館は、考古資料で三内丸山遺跡とリンクする部分があるが、子供がいる家庭は、自然のなかにある施設が行きやすいのではないかと思う。
そういう人達を、そちらに行き、こちらも見ると、もっと楽しい、もっと勉強になるという流れ、足を向けるサービスや案内があればいいと思う。
- (4) 郷土館は、さまざまな分野を扱っているのが特色の総合博物館である。何かを行う場合には、多方面から切り込んでいくことができる、そういうプラス面がある。
青森県内あるいは青森市内で、民俗や縄文、美術等の施設を回るコース等があれば、それぞれのコースに必ず郷土館は入ってくるので、そのようなコースや案を考えて、実施してみれば、いろいろな方が郷土館に来て、郷土館の素晴らしさを知り、リピーターも増えるのではないかと思う。

- (5) 郷土館は、素敵な建物であるし、街の真ん中に位置している。郷土館で素晴らしいものを見て、感動を深くした後、過ごした時間を良い思い出として持ち帰ってもらいたい意味で、おいしいお茶が飲める場所、もう少しゆっくりできる場所が欲しいと感じる。
- (6) 郷土館に来た記念のお土産が欲しい。例えば、展示品のポストカードであるとか、何か来た記念に持って帰れるようなもの、値段も安くお土産として買いやすいものがあれば、観光客の方にも良いのではと思う。
- (7) 郷土館は良い施設だが、県南地域では知名度が低いと感じる。郷土館の収蔵資料を見ることができる市町村図書館等との連携事業を、どんどん増やして、県南地域でも知名度を高めて、県全体で楽しめる施設にしていきたいと思う。
- (8) 接遇研修を実施しているということだが、展示内容だけでなく、来館者が気分良く帰れるということも必要で、大切だと思った。